



第14回 CSJ 化学フェスタ 1

CSJ 化学フェスタで 今年も交流の輪を広げよう！

見どころ・聞きどころ・ほかでは得られない情報が満載！

第14回 CSJ 化学フェスタは、すべての企画を10月22～24日にタワーホール船堀（東京都江戸川区）にて開催する予定です。今回も「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」という不变の趣旨に則り、多方面から研究者・技術者・関連分野の多くの方々をお招きし、様々な視点からの議論や情報交換ができる企画を催します。多種多様な分野において、基礎的な内容から最先端の研究までの講演を企画しており、化学の楽しさ、奥深さを人々の交流を通じて実感できる場を提供します。皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。

実行委員長より挨拶

CSJ 化学フェスタは日本化学会の秋のイベントとして定着し、今年で開催で第14回を迎えます。コロナ禍を乗り越えて前回は、目玉企画の1つである「交流会」も開催できました。第14回でも引き続き交流の輪が広がる様々な企画を提供し、皆様に楽しんでいただけたと考えていますので、ぜひご参加下さい。

CSJ 化学フェスタは、開催趣旨として「産学官の交流深耕」および「化学の社会への発信」を一貫して掲げており、第13回では総参加者数約2600名を記録し大盛況でした。第14回ではさらに魅力的な企画を追求しています。CSJ 化学フェスタは、研究に携わっているあるいは着手しようとしている学生の皆様、産学官の様々な所属で化学に携わる研究者・技術者の皆様、研究開発の将来や事業化を模索している皆様、普段身近な化学に支えられた生活を送る市民の皆様など多様な立場の方々を対象に情報を発信します。



2023年開催・第13回 CSJ 化学フェスタのノーベル賞解説講演

企画は、【有料企画】と【無料企画】の大きく2つに分かれます。【有料企画】は、環境・エネルギー・資源、新素材、バイオ・食品・健康医療、新規テーマについて基礎的な知識や背景から先端的な研究までをその分野における第一人者の方々が紹介する「テーマ企画」、1000件に上る迫力ある学生の「ポスター発表」、研究に取り組みはじめた学生や若手研究者にわかりやすく基礎知識からキャリアに関する情報を提供する「チュートリアル企画」、各企業・組織の研究開発の取り組みを紹介する「産学官 R&D 紹介企画」から構成されます。【無料企画】は、一般市民の皆様へ化学の世の中への貢献を発信する「公開企画」、産学官の最先端の研究領域を紹介する「コラボレーション企画」から構成されます。前回開催後のアンケート結果を勘案し、皆様からの各種ご要望に応えるべく様々な議論を重ねて企画を練り上げてきました。本特集では、各企画担当委員がその魅力の一端を紹介します。

議論や交流を通じて、お互いの熱量を肌で感じたり、新たな人脈を構築したり、共同研究の種を発掘したり、参加する皆様にとってワクワクする場を提供できるよう関係者一同準備をしております。10月にタワーホール船堀でお待ちしております。

第14回 CSJ 化学フェスタ実行委員長：加藤隆史（東京大学）、山田泰司（花王）

産学官 R&D 紹介企画

産学官 R&D 紹介企画では、「R&D 展示ブース」、「ランチタイムセッション（講演）」を開催し、学生が進路

を考える契機となる場および産学官の連携や交流深耕の契機となる場を提供します。企業や大学、国立研究開発法人の参加機関が、①学生に「事業や研究開発の概要」、 「研究成果・技術・製品」、 「キャリアパス」などを紹介します。また、②来場者に「技術や製品のPR」、 「研究成果の発表」、 「共同研究の提案」などを紹介します。

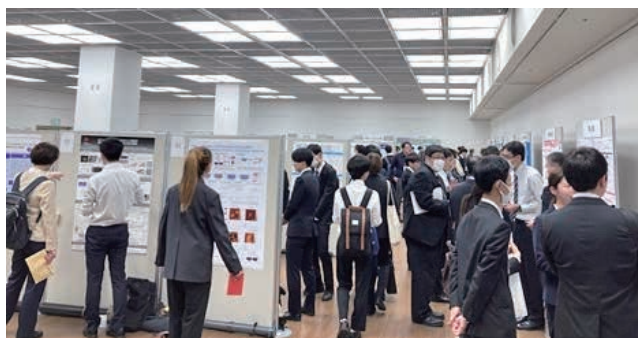
「R&D 展示ブース」では、資料だけでなく、製品サンプルの展示、デモンストレーションや動画なども活用してアピールを行います。学生ポスターセッションとの同時開催のため、学生をはじめ産学官の多くの来場者が展示ブースに詰めかけ、より深いコミュニケーションを図っていただけます。今回もどの参加機関も3日間通しの出展となります。「ランチタイムセッション(講演)」では、お昼の時間帯に、参加機関名を冠した昼食付の講演を行います。参加機関のR&D アクティビティ、研究成果や製品開発事例、人材育成やキャリアパス、連携事例やグローバル展開などを紹介します。工夫を凝らしたプログラム内容で、かつアットホームな雰囲気で開催機関の紹介と質疑応答が行われます。

なお、企業と学生の交流に際しては、政府の「就職・採用活動日程に関する考え方」を遵守し、説明や講演は技術・研究開発担当者が行います。

企画担当委員：新井貴子(デンカ)、小沢秀生(UBE)、松原哲明(日本ゼオン)

ポスター発表

学生と産学官の研究者が議論し、交流することを目的として、学生ポスターセッションを実施します。CSJ 化学フェスタポスターセッションの特徴と魅力は何と云っても、大学教員のみならず多様な専門分野の



2023年開催・第13回CSJ化学フェスタのポスター発表会場

産業界や公的研究機関の研究者とのディスカッションです。開催期間中の3日間で合計9セッション(各セッション2時間)を用意しています。

第13回CSJ化学フェスタのアンケートでは、ポスター発表を行った学生から「審査員の方々に多くのアドバイスをいただき、ありがたかった」、 「自分とは異なる分野の方や企業の方と交流できて良かった」、 「他大学、他研究室の方と交流できて良かった」などのコメントが寄せられています。一方で、審査員や来場者からは「ポスター発表における学生の熱意が素晴らしい」、 「優秀な学生が多く、化学の将来に期待が持てました」、 「毎年レベルが上がっており、参加するのが楽しい」などのコメントをいただいています。なお、審査を希望する発表には、「発表者の研究への寄与」、 「質疑応答」、 「研究の独自性と発展可能性」などを基準に産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対して「優秀ポスター発表賞」が授与されます。中でも最も優れた発表に贈られる「最優秀ポスター発表賞(CSJ化学フェスタ賞)」には副賞を贈呈するとともに、本誌に受賞者コメントを掲載します。皆様のご参加をお待ちしております。

企画担当委員：一川尚広(東京農工大学)、岩崎孝紀(東京大学)、大内 誠(京都大学)、桑田繁樹(立命館大学)、中村修一(名古屋工業大学)、橋詰峰雄(東京理科大学)、三好大輔(甲南大学)、山口和也(東京大学)

交流会

10月23日(化学の日)夕刻より、タワーホール船堀にて交流会を開催します。ポスター登壇者は無料で参加できます。日本化学会のイベントの中で、最も規模が大きく、学生の参加率も高い交流会です。企業から提供いただいた豪華景品をかけたクイズ大会企画も用意しています。人と人との関係が希薄だった数年の空白を埋めるべく、明るく楽しい交流会となるよう準備しております。ぜひ、講師や他大学の教員、学生と知り合って、人脈を広げて下さい。多くの方々のご参加をお待ちしております。

企画担当委員：跡部真人(横浜国立大学)、緒明佑哉(慶應義塾大学)、大内 誠(京都大学)、桑折道濟(千葉大学)、矢島知子(お茶の水女子大学)

© 2024 The Chemical Society of Japan